

地域おこし協力隊 アドバイザー 活用提案資料

- 1 . おすすすめポイント
- 2 . 申請フロー
- 3 . 活用のヒント
- 4 . アドバイザー一覧

おすすめポイント

POINT 1 費用負担ゼロ

アドバイザー派遣に掛かる費用は全て総務省が負担
予算措置の必要が無いので、今すぐ派遣申請が可能

POINT 2 豊富なノウハウ

サポートデスク関係者をはじめとした有識者にアド
バイザーを委嘱し多角的な支援体制を構築
事業の各フェーズに応じた幅広い課題に対応

POINT 3 あらゆるお悩みの解決に効果抜群

実践的な助言により応募者の増加や受け入れ体制の
整備など効果的な事業の展開を促進

申請フロー

01

申請

- 派遣申請書に必要事項を記入後、総務省委託業者に【直接】提出していただきます。
- いただいた派遣申請書をもとに派遣内容について、審査を行います。



02

決定

- 総務省委託業者が派遣先団体及びアドバイザーと派遣内容・日程について調整を行い、アドバイザーと派遣先団体をお繋ぎします。
- 派遣決定後は、派遣先団体とアドバイザーとの間で、直接調整をしていただきます。



03

派遣

- 派遣後、派遣先団体及びアドバイザーから実績報告書を提出していただきます。

地域おこし協力隊アドバイザー活用のヒント

協力隊の受入れが初めて、応募者数が少ないといった悩みを抱える自治体に対して、制度設計から募集・採用まで集中的に支援！地域おこし協力隊に関する幅広い課題に最適なソリューションを提案します！

制度設計・企画

- ✓ 協力隊を導入したいけれど何から始めていいかわからない
- ✓ 協力隊に何をやってもらったらいいかわからない
- ✓ 役所の中で制度への理解が進んでいない

募集・採用

- ✓ 募集をしているけれどなかなか応募がない
- ✓ 条件に合致する人が来てくれるか不安
- ✓ 内定を出したけれど住居が確保できない

活動支援

- ✓ 隊員の活動を支援するために必要なマンパワーがない
- ✓ 隊員にやってほしいことと本人のやりたいことがうまくマッチしていない
- ✓ 隊員と受入れ団体がうまくいっていない

任期後に向けた支援

- ✓ 隊員に起業意欲があるが、どう支援したらいいかわからない
- ✓ 隊員の任期終了後のキャリアが見通せない
- ✓ 隊員の定住率がなかなか上がらない

経験豊富なアドバイザーが担当者の悩みを解決！

- 成果を出す協力隊の企画の仕方
- 導入に向けたプロセス設計の仕方
- 全庁的な受入れ体制作りのポイント

- 魅力的な募集要項の作り方
- 募集情報の発信の仕方
- おためし・インターンの活用の仕方
- 隊員向け住居確保のコツ

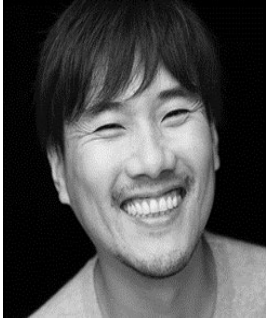
- リソースに応じた受入れ体制の作り方
- 隊員のサポート体制の作り方
- 関係者間のコミュニケーションを円滑にするための工夫
- 都道府県ネットワークの推進方法

- 起業支援のノウハウ
- 隊員のキャリア形成への関わり方
- 定住に向けた活動計画の作り方
- 定住率を上げるためのポイント

どのアドバイザーに相談したらいいかは次ページを御覧ください⇒

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企画の作成・魅力度の向上	受入れ体制づくり・受入の増強	市町村のサポート体制の強化	情報発信の強化	インターンの活用促進	任期終了後に向けた支援	都道府県ネットワークの推進	その他	自治体へのメッセージ
 青野 雄介 （あおの ゆうすけ） 株式会社BRIDGE the gap 代表取締役 一般社団法人みやざき地域おこし協力隊ネットワーク 代表理事	○		○			○	○		地域おこし協力隊は地域活性化の起爆剤になり得る制度であると思います。ただし、新しい制度であって、世界的にも珍しい制度であると思いますので前例も少なく、運用も難しいのが実態であると思います。有効な活用の仕方を経験者の視点から一緒に考えさせていただけたら幸いです。
 板垣 義男 （いたがき よしお） 一般社団法人えひめ暮らしネットワーク代表理事				○		○	○	○	地域おこし協力隊経験がありませんが、えひめ移住コンシェルジュという立場で、これまで愛媛県内の地域おこし協力隊を支援してまいりました。そのため例えば、協力隊OBを移住コーディネーターとして起用することによる優位性など。協力隊にとどまらず移住定住に関わるアドバイスができます。また、代表理事を務めるえひめ暮らしネットワークは、協力隊ネットワーク組織の領域を超え、移住促進や地域づくりの文脈でも活動しております。
 伊藤 晴樹 （いとう はるき） 株式会社Time Colors 代表取締役 秋田県地域おこし協力隊ネットワーク 副代表		○	○			○	○	○	東北で初めての協力隊ネットワークの立ち上げから現在は担当職員向けの研修や現役隊員の起業、就職に向けたアドバイスまで担っています。本業の人材育成事業の経験を活かし、地域の受入やサポート体制の整備、任期終了後のサポートが得意領域です。現在では協力隊と自治体担当者の両方から相談も受けています。些細なことでもお気軽にご相談ください。
 稲垣 文彦 （いながき ふみひろ） NPO法人ふるさと回帰支援センター・副事務局長		○	○		○		○	○	地域おこし協力隊（外部人材）を活用した地域づくりをはじめの一步からお手伝いします。

※◎については、各アドバイザーが特に得意とする分野を表しています。

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企画の作成・魅力度の向上	受入れ体制づくり・受入の増強	市町村のサポート体制の強化	情報発信の強化	インターンの活用促進	任期終了後に向けた支援	都道府県ネットワークの推進	その他	自治体へのメッセージ
 宇都宮 弘志郎 （うつのみや こうしろう） （一社）西予市移住定住交流センター 事務局長	○	○	○			○	○		地域おこし協力隊の導入は地域住民との連携抜きでは成功しません。協力隊と地域が二人三脚で、より良い地域づくり活動ができるよう、一緒に考えていきましょう。
 加藤 潤 （かとう じゅん） NPO法人頼娃おこそ会 副代表 （株）まるのこうボ 代表取締役		○				○		○	過疎地に地域団体受入型の協力隊制度の運営や、空き家を活用した住居提供の仕組みづくりに携わってきました。こうした経験がお役に立てば幸いです。
 門脇 恵 （かどわき めぐみ） （一社）佐賀県地域おこし協力隊ネットワーク 代表理事 サポートデスク専門相談員 合同会社NOWA共同代表	○	○	○	○			○	○	「地域おこし協力隊」という言葉が広く一般の方にも知られるようになりました。たくさんの成功事例が聞こえてくる一方で、受け入れの難易度が高く、自治体職員の皆さんを悩ませているのも一つの事実だと感じています。自治体職員の皆さんの悩みや負担を少しでも解消しつつ、自治体にとっても、地域にとっても、隊員にとっても発展性や魅力がある事業にできるよう微力ながらサポートしたいと考えています。ちょっとしたことや基本的なことでも抱え込まずに気軽にお声掛けいただけると嬉しいです。
 古茂田 勇太郎 （こもた ゆうたろう） 茨城県那珂市 産業部 商工観光課 インターチェンジ周辺開発推進室 主幹	○	○	○	◎					隊員募集のお悩みをエグゼキューションまでワンストップでソリューション！ 何をしたのか？職員の視点で実務の詳細を全て包み隠さずお話しします。 地道な努力！緻密な戦略！大胆な実行力！これで応募殺到です。

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）		募集企画の作成・魅力度の向上	受入れ体制づくり・受入の増強	市町村のサポート体制の強化	情報発信の強化	インターンの活用促進	任期終了後に向けた支援	都道府県ネットワークの推進	その他	自治体へのメッセージ
	西塔 大海 （さいとう もとみ） 合作株式会社取締役副社長 慶應義塾大学SFC研究所上席所員 福岡県「NPO・ボランティアと企業、行政との協働実践会議」委員 福岡県庁 よかとこビジネスプランコンテスト 審査員 さとのば大学講師	◎	◎	◎	○	○	○	◎	○	地域の現場で10年以上、協力隊や職員の皆さんと一緒に汗をかいてきました。関わる人々にとって「こんなはずではなかった！」という運用にならないよう、現場・役場の実情にそって、お手伝いできれば幸いです。「とりあえず募集して、せっかくだから採用」ではなく、着任してからも困らない募集採用のお手伝いを心がけています。また、職員研修、起業支援、OBOGネットワーク、トラブル対応など幅広い対応が可能です。
	三瓶 裕美 （さんべ ひろみ） 一般社団法人しまね協力隊ネットワーク 代表理事 総務省 地域おこし協力隊サポートデスク 専門相談員 雲南市地域おこし協力隊 マネージャー つちのと舎 代表 社会教育士	○	◎	◎	○	○	○	○		自分自身が隊員時代にミスマッチを経験したのもあり、自治体・地域・協力隊が三方よしになる制度運用を探究しています。基礎的なことをわかりやすく伝えることや、関係者のコミュニケーション改善、サポート人材育成などを通した、導入支援・日々のサポート体制づくりを大事にしておりますので、お気軽にご相談ください。
	柴原 孝治 （しばはら こうじ） （一社）ホワイエ代表理事 （一社）岐阜県地域おこし協力隊ネットワーク代表理事 筑波大学院非常勤講師 アオイロ・カフェ経営	○			○		◎	◎		自身が任期中からカフェや法人設立した経験を持ち合わせていますので、隊員の出口問題についてはお力になれると思います。また、自社で有料職業紹介業の認可を取得しており、人材募集・採用に関してもご相談ください。協力隊制度を前のめりに活用したいとお考えの自治体の方ぜひ、ご一緒させてください！
	杉山 豊 （すぎやま ゆたか） 一般社団法人ローカルイノベーションイニシアティブ（長野県OBOGネットワーク）共同代表 waratte 代表	○	○	○		○	○	○		協力隊受入れ全国2位の長野での事例を基に、協力隊制度を活用していくため、ご担当者のみなさんの悩みや課題にしっかり寄り添い長野県協力隊の経験も活かして行政・隊員両面の立場から支援させていただきます。

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企画の作成・魅力度の向上	受入れ体制づくり・受入の増強	市町村のサポート体制の強化	情報発信の強化	インターンの活用促進	任期終了後に向けた支援	都道府県ネットワークの推進	その他	自治体へのメッセージ
 副島 優輔 （そえじま ゆうすけ） 一般社団法人アンテナさくほ 代表理事 佐久穂町役場 地域プロジェクト マネージャー	◎	○	◎		△ ※お試しのみ	○	○		各市町村に適した協力隊の在り方は事例の真似では見つからず、導入までのプロセス設計が重要です。内部の調整だけでなく外からの視点も入れてそれぞれの地域らしい協力隊の在り方を目指しませんか？
 田口 太郎 （たぐち たろう） 徳島大学大学院・准教授 合同会社暮らしと自治と創造・業務 執行社員	○	○	○		○	○	○	○	協力隊施策の成否は受け入れ自治体の企画の精度に大きく影響を受けることは、このところ話題になる炎上案件を通じても明らかです。小手先のテクニックで募集を増やす、というよりも丁寧な企画でよい取り組みを生み出していきたいと考えております。
 長尾 弘巳 （ながお ひろみ） 岐阜県白川町 農林課 課長			○						地域おこし協力隊も移住者です。活動をサポートする中で取り組んだこと、失敗した経験等をお伝えします。
 中島 英樹 （なかしま ひでき） 一般社団法人朝来まちづくり機構・ 代表理事	◎	○	◎						16名の隊員が卒隊し、そのうち15名が在住在勤（2023年度現在）となっているまち、兵庫県朝来市の地域おこし協力隊OBです。地域おこし協力隊アドバイザー委嘱1年目にて、今の時点で具体的にどんなお役に立てるかわかりませんが、朝来市で6年間、担当課や受け入れ団体の方々と一緒に現役隊員のフォローアップをしてきた経験は活かせると思っています。

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企画の作成・魅力度の向上	受入れ体制づくり・受入の増強	市町村のサポート体制の強化	情報発信の強化	インターンの活用促進	任期終了後に向けた支援	都道府県ネットワークの推進	その他	自治体へのメッセージ
 中田 誠志 （なかた せいじ） 合同会社地域と協力の向こう側 代表社員 農事組合法人土とむぎの青空 理事兼生産部長 総務省サポートデスク専門相談員 岐阜県地域おこし協力隊ネットワーク 監事 コワーキングカフェ/そばのカフェおくだ 経営者		○						○ ※現状把握と分析	協力隊制度と隊員を活かすのに重要な役割を担っている自治体の皆さま 地域力アップに必要な要素の再認識、要所のグリップ、未知なるものを惹きだすために必要なゆるさを一緒に考え実践していきましょう。
 鍋島 悠弥 （なべしま ゆうや） （一社）えひめ暮らしネットワーク 副代表 総務省地域おこし協力隊サポートデスク 専門相談員	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	これからの地域が自分たちの力で地域力を創造していくためには、現場目線から改めて地域の現状を見つめなおし、単純な人口増ではない地域づくりの在り方を模索していくことが求められています。その地域力創造のプロセスに伴走しながら、地域にとって実態感があり、尚且つ効果的な、地域おこし協力隊・移住者・関係人口といった外部支援者を受け入れていくための体制づくりを支援します。
 西嶋 一泰 （にしじま かずひろ） 島根県立大学 地域政策学部 講師 （一社）しまね協力隊ネットワーク 副代表	◎	○	◎	○	○	○	○		任期中から、しまね協力隊ネットワークの立ち上げに関わり、県内の隊員や自治体をサポートしています。また隊員時代はミッションとして情報発信に関わり、フリーランスでライター・編集者としてWebや冊子の作成を手掛けており、募集企画作成支援も行っています。
 野口 拓郎 （のぐち たくろう） 地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員 弘前圏域移住交流デザイナー	○	◎	○	○	○	○	○	◎ ※トラブル予防	様々なトラブル事例から逆算させた形での予防アドバイスを得意としています。各県主催の担当者研修や、本アドバイザー事業においてもトラブル予防に関するレクチャーを担うことが多いです。「取りまとめ課(主担当課)の他に受入担当課が複数存在する自治体へのサポート実績」、「協力隊未導入自治体へのサポート実績」も近年上がってきました。

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企 画の作 成・魅 力度の 向上	受入れ 体制づく り・受入 の増強	市町村 のサ ポート 体制の 強化	情報発 信の強 化	インター ンの活 用促進	任期終 了後に 向けた 支援	都道府 県ネット ワークの 推進	その他	自治体へのメッセージ
 橋本 直樹 （はしもと なおき） NPO法人ユニライズ代表理事 由仁町移住交流支援センター センター長	◎	○	○			◎	○	○	自身の活動は移住・観光推進・人材育成などがメインとなり、特に、空き家の流通促進・活用・マッチング支援については多様な経験と事例がありますので、お気軽にご相談ください。 地域おこし協力隊員、自治体様の目標達成に向けたチャレンジやプランニングをお手伝いさせていただきます。
 長谷川 祥子 （はせがわ しょうこ） 一般社団法人TORCH 代表理事	○	○	○	△	△ （おためしのみ）	○	○		地域おこし協力隊は、ソト（隊員）とウチ（地域）をどうつないで連動させるか、公益性とは何か、ということを改めて皆で考える制度でもあると感じています。 現場で活動する皆さまのお手伝いができればと考えております。
平井 太郎 （ひらい たろう） 弘前大学大学院地域社会研究科教授	○	○	○	○	○	○			
 藤井 裕也 （ふじい ひろや） （一社）岡山県地域おこし協力隊ネットワーク代表 （合）たわし代表取締役	○	○	○			○	○	○	地域おこし協力隊は地域に人材と事業を残すことができる制度です。一緒にいい事業をつくっていきましょう！

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企 画の作 成・魅 力度の 向上	受入れ 体制づく り・受入 の増強	市町村 のサ ポート 体制の 強化	情報発 信の強 化	インター ンの活 用促進	任期終 了後に 向けた 支援	都道府 県ネット ワークの 推進	その他	自治体へのメッセージ
 松尾 俊正 （まつお としまさ） 一般社団法人コミュニティデザイン	○	○	○	○	○	○	○	○	各自治体の本質的課題を事業に置き換え 持続可能な形と一緒に検証。 民間企業の知識を活用し継続的な事業を 企画提案。 共創的思考で互いの利点を考慮しつつ事 業サポートを行います。
 宮田 友香 （みやた ゆか） 一社）長崎県地域おこし協力隊 ネットワーク代表理事 一社）まつうらコミュニティデザイン 代表理事 一社）まつうら観光物産協会理事 みやだデザイン（同）業務執行 社員	○		○	◎				○	その地域ならではの強みと文脈、人材を活 かす広報戦略が得意です。自治体・地域・ 隊員みんなが「よかった」と思えるミッション やサポート体制づくりなど、地域力の向上に つながるお手伝いができれば幸いです。お気 軽にお声かけください。
 安岡 周総 （やすおか まさふさ） えれ株式会社 代表取締役	○	○	○		○	○		○	地域おこし協力隊の多くは自分自身の人 生を賭けて移住しています。地域おこし協 力隊と受入自治体のお互いが良かったと思 える制度活用のために、「制度の運用や仕 組化」、地域おこし協力隊の「募集から起 業支援・定住」を担当していた経験を活か して内部調整を含めた支援が可能です。
 吉村 佑太 （よしむら ゆうた） 地域おこし協力隊サポートデスク専 門相談員 地域おこし協力隊サポーターズ 鹿児島 代表	○	◎	◎	○		○	◎	○	令和5年度は3自治体に派遣され、自治 体にあった隊員マネジメント体制づくりや、 自治体単位でのOBネットワーク組織設立 に向けたアドバイス、隊員受け入れ検討地 域向けの制度説明会の実施、自治体職員 との壁打ち、職員と隊員が定期的に面 談する対話の場づくりなどを行いました。協 力隊運用ガイドラインや引き継ぎ書類の作 成支援、日々サポの使い方と予算づくり、 地域文脈に沿った制度運用の事例提供な どが得意です。お気軽にご相談ください。

アドバイザー一覧

各アドバイザーのプロフィール詳細はこちらのリンクを御覧ください。
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/c-gyousei/adobaiza_hakenjigyo.index.html

アドバイザー（五十音順）	募集企画の作成・魅力度の向上	受入れ体制づくり・受入の増強	市町村のサポート体制の強化	情報発信の強化	インターンの活用促進	任期終了後に向けた支援	都道府県ネットワークの推進	その他	自治体へのメッセージ
 若松 佑樹 （わかまつ ゆうき） 株式会社えぽく 代表取締役	◎	○	○	○					協力隊として大学生のインターンシップコーディネートを行って以降、プロジェクト設計、募集、実施サポートなどを行ってきました。このノウハウを活かして、地域おこし協力隊での企画づくりや、募集、サポートなどを行っています。茨城県内で200名近くの選考、約30名の隊員への伴走型サポートをしました。地域にとっても隊員にとっても良い企画を一緒につくっていきましょう。
 渡部 泰生 （わたなべ やすお） 今治市 総合政策部 交流振興局 サイクルシティ推進課 課長補佐	○	○	○		△ ※お試しのみ	○		○	自治体職員だからこそ、自治体職員の気持ちが解ります。一緒に問題を解決しましょう。「失敗事例」を克服してこそ、成功事例につながります。定着率や隊員満足度が高いのは、失敗事例に学んだから。住みたいまち日本一になれた理由もコッソリお教えします。